

### 第3回住民会議意見概要（経済建設部会）

日時：平成28年7月12日（火）19：10～21：15

場所：役場5階 執行部控室

#### ■基本計画案に関する意見

##### まちづくり目標4：工夫と連携で産業が躍動するまち

###### (1) 南風原産品を創り伸ばす農業の振興

- ・新規就農者の方への取り組みよりも、現在、頑張っている人への支援を手厚くする方が良いと思う。
- ⇒どちらの取り組みも必要であると考えており、現在頑張っている方については、「農業基盤の強化」「農業経営の強化」などの中で支援していくことを考えている。
- ・かぼちゃをPRしていきたいという話を商工会の仲間としていて、その方法としてハロウィンパーティーをしたいと考えているので、PR活動が施策に位置付けられていると開催に向けて行政の協力も得られやすいのかと考えている。
- ・ナーベラーも全国の方が食べるものというイメージをもつようにPRすることも良いと思う。
- ・六次産業化に向けて、南風原に集積している、印刷・広告関係の事業所と連携してPR活動を展開していくことも重要である。例えば、ユーチューブでナーベラーをPRする面白い動画をアップするなど良い。
- ・農地の多面的な活用について、「ひまわり畑」の取り組みが資源になりつつあるが、これを観光資源にするためには、駐車場の問題など様々なことを検討し整備していかなければならない。

###### (2) 賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

- ・商工会の事務局に、町内に空いている土地の確認や人材募集に関する相談が寄せられている状況があるので、町内の空いている土地の情報収集・提供、中央公民館などを使っての人材募集のイベントをしたいと考えているので、行政と連携してできればと思う。
- ・印刷業の知り合いの中でも町内に土地がないので、他市町村に出ていくという話も聞いたりするので、土地と人材の問題は早急に取り組むべきものだと思う。土地については、必ず大きな土地だけではなく、規模的に小さなものでも求めている人はいるので、その辺の情報が欲しい。⇒37ページ
- ⇒人材の話は、「雇用サポートセンター」が今年の3月に設立されているが、まだ周知が出来ていない状況にあると思うので、商工会とも連携した取り組みが必要だと思う。
- ・南風原町の交通の利便性の良さをもっとアピールして、産業を誘致することも必要だ

と思う。

### (3) 地域の連携で創るレクリエーション・観光の振興

- ・観光協会の人員体制の強化が必要な状況にあると思う。事務員の方が一人でいくつも業務を抱えており、イベント時の会員への情報提供や協力依頼などが回らなくなっている状況にある。⇒41 ページ
- ・南風原町の観光を振興していく上で、単に県外や海外の観光客を誘致しようということではなく、県内の人を呼び込むようなところに力を入れることも必要だと思う。それが、ひいては県外や海外の方の誘致にもつながるのではないか。
- ・県内の人を呼び込むには、那覇市の識名にあるヤギを飼っている公園のような「ミニミニ動物園」や「食のテーマパーク」などをつくり、南風原に行くと楽しいというイメージをつくり上げることも大事だと思う。

### (4) 歴史と伝統を誇る工芸産業の振興

- ・町民が購入しやすい商品展開をした方が良い。町民の人の利用が増えると、それがPRにつながると思う。例えば、かりゆしウェアの胸ポケットのワンポイントや襟元のワンポイントの価格とスタンダードなデザインが表示されているカタログなどがあれば、お願いしやすい。
- ・かすりの町民割引があると良い。
- ・伝統工芸産業を支援していくにも、組合や行政がどこまで本気で取り組むのかというのが重要だと思う。いくら伝統工芸だといっても、モノが売れないと続かないと思うので、その辺の本気度が問われていると思う。

## まちづくり目標5：みどりとまちが調和した安全・安心のまち

### (2) 快適で文化的に暮らせるまち

- ・河川のピーク時の容量オーバーについてですが、大雨の際には、容量オーバーはしていないものの、川に降りられるように整備されている階段まで水が来るので（イエローハットの裏手）、子どもには、近づかないように注意している。⇒50ページ
- ⇒以前は、道路が冠水したこともあったが、県の事業で整備をしてからは良くなっていると思う。
- ・景観の面で、南風原ダムから 21 世紀橋を見るポイントは良いと思う。また、河川や南風原ダムなどを活用して、糸満の親水公園のようなものが出来ると良い。
  - ・南風原は特に街路樹が少ない印象があるので、その辺は力を入れると良い。

### (3) 利便性のよい魅力あるまちづくり

- ・千葉で自動運転の無人バスが実証実験を経て運行するという話があるが、南風原においても、環境を絡めた実証実験を行うところとして、手を挙げてみるのも良いのではないか。例えば、かすりロードを自動運転バスが通るなど。
- ・道路や公共交通について、調査・研究をしていく上で、民間事業者との連携することも重要だと思う。また、調査する上で期間を設けて調査委員を公募するなどの取り組みがあっても良いと思う（本当にLRTは成り立つのかなども含めて）。
- ・道路環境の利便性や空間としての充実なども重要であるが、交通事故の多発する場所（右折レーンはあるが、信号の矢印が出ない所など）というのは、ある程度決まっているので、その辺の対策ということも施策の中に整理しておく必要があると思う（スピードが落ちるようなペイントや標識の設置など）。⇒53ページ